



各 位

2024年4月1日

会社名 株式会社イオンファンタジー
代表者名 代表取締役社長 藤原 徳也
(コード番号 4343 東証プライム市場)
問合せ先 取締役兼常務執行役員 管理統括
兼リスクマネジメント担当 井関 義徳
(電話 043-212-6203)
当社の親会社 イオン株式会社
取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号 8267 東証プライム市場)

業績予想の修正に関するお知らせ

2023年4月12日に公表いたしました2024年2月期の連結業績予想及び個別業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2024年2月期の連結業績予想 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	86,200	4,000	2,700	600	30円35銭
今回修正予想 (B)	81,750	3,570	4,450	1,250	63円23銭
増減額 (B-A)	△4,450	△430	1,750	650	
増減率 (%)	△5.2	△10.8	64.8	108.3	
(ご参考)前年同期実績 (2023年2月期)	72,690	849	1,318	△3,376	△170円82銭

(2) 2024年2月期の個別業績予想 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	68,000		3,700	400	20円24銭
今回修正予想 (B)	64,470		6,230	△390	△19円73銭
増減額 (B-A)	△3,530		2,530	△790	
増減率 (%)	△5.2		68.4	—	
(ご参考)前年同期実績 (2023年2月期)	58,824	2,402	3,669	△3,938	△199円27銭

(3) 修正の理由

(連結)

2024年2月期において、国内は、メダル部門・時間制遊具部門が前年より売上高の改善が進みました。また、高ROIモデルの戦略的小型店は年間106店舗を出店し、売上・利益改善に貢献いたしました。結果、営業利益は期初の計画を上回りました。アセアンは、アミ

ユーズメント業界内やプレイグラウンド業界内で店舗数・売上ともに第1位まで成長したマレーシア、フィリピンが好調に推移いたしました。

売上高について、国内は計画より5.2%減。アセアンは計画より22.2%増になりました。営業利益について、国内は荒利益率の高いメダル部門の売上が改善し、コスト改善が進んだことにより、計画より約+5.7億円。アセアンは計画より約+6.5億円改善いたしました。

中国はコロナ影響からは回復したものの、経済活動の不透明感と感染症の流行により、売上は伸び悩み、売上高・営業利益は前年より改善したものの、売上高は計画より約30%減、営業利益は計画より約▲16.5億円未達となりました。

連結の売上高は、当初予想より5.2%減。営業利益は当初予想より4.3億円下回りましたが、経常利益は為替差益を約11.7億円計上したことにより、連結経常利益は44.5億円となり、当初予想より17.5億円上回りました。また、2月に中国事業の不採算店舗について特別損失として減損損失、閉店損失引当金繰入額を約3.5億円計上いたしました。親会社株主に帰属する当期純利益は12.5億円となり、前期の▲33.7億円を大きく上回り、黒字回復いたしました。

以上の結果、当期の連結業績は、売上高、営業利益は前回予想を下回る見込みとなりましたが、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見込みとなりました。

(単体)

売上高は前回予想より5.2%下回りましたが、荒利益率の高いメダル部門の売上改善が進み、コスト低減も進めた結果、営業利益は約45.7億円を計上する見込みで期初の計画40億円を上回る見込みです。為替差益の計上により経常利益は当初予想を68.4%上回る見込みです。当期純利益は中国の業績回復が遅れたことにより関係会社事業損失引当金繰入損等を特別損失に計上することにより、▲3.9億円の見込みです。

※上記記載の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上